

全日程同時時間帯で実施	2019年8月8日(木)					
時間	学部	学科	教員名	役職	タイトル	体験授業の内容
12:00~12:50	国際日本学部	日本文化学科	中村 隆文	准教授	「正義」と「罪」の比較文化論	「何を正義とするか」「罪はどのようにすれば赦されるか」は国によってさまざまであり、その背後には、「義」や「罪」に関する神話的世界観の違いが横たわっている。西洋の神話的世界観と日本のそれとを比較・分析しつつ、我々にとって当たり前と考えられているところの「正義」「罪」「赦し」の意味を紐解いてゆく。
14:30~15:20	国際日本学部	歴史民俗学科	前田 禎彦	教授	平安京の少年たち	紫式部の『源氏物語』や清少納言の『枕草子』などで知られる摂関政治の時代(10世紀~11世紀前半)、平安京には、高貴な貴族らにいつも付き従う小舎人童(こどねりわらわ)とよばれる少年たちが存在していました。この授業では彼らの活躍を当時の貴族が書き残した日記や文学作品・絵画作品を素材に明らかにしてゆきます。
12:00~12:50	法学部	自治行政学科	大川 千寿	准教授	政治は私たちのもの—現代の政治と選挙	政治は、人間として生まれてきた以上、私たち一人ひとりに必ず関わりのあるもので、とても大切なものです。「18歳選挙権」導入から3年、高校生の皆さんも政治についてより深く考える必要性が増えています。この授業では直近の事例を交えつつ、政治学的な観点から、政治や選挙のエッセンスを分かりやすくお話しします。
14:30~15:20	法学部	自治行政学科	大川 千寿	准教授	政治は私たちのもの—現代の政治と選挙	政治は、人間として生まれてきた以上、私たち一人ひとりに必ず関わりのあるもので、とても大切なものです。「18歳選挙権」導入から4年、高校生の皆さんも政治についてより深く考える必要性が増えています。この授業では直近の事例を交えつつ、政治学的な観点から、政治や選挙のエッセンスを分かりやすくお話しします。
12:00~12:50	経済学部	経済学科	清水 俊裕	准教授	データから何が分かるのか	最近、社会のあらゆる場面でデータが重要視されるようになってきました。主張が単なる思い込みではないことを示すには、根拠となるデータが必要だからです。しかし、データを集めてきて並べるだけで、何が分かるようになるわけではありません。この授業では「正しいデータの読み方」について、具体例とともに解説します。
12:00~12:50	経済学部	現代ビジネス学科	奥山 茂	教授	会計の世界へようこそ	会計学の研究対象である会計の領域を概観した上で、会計という仕組みから生まれる情報を読み解くことによって、その情報が何を意味しているのか、そこから何が分かるのか、またその情報を使うことによってどのような意思決定につながるのかということを実際にみなさんも体験してみましょう。
14:30~15:20	経済学部	経済学科	清水 俊裕	准教授	これから「貨幣」はどうなるか	「貨幣」と聞いて想像するものは、少し前までは「お札」だけでした。ところが現在では「電子マネー」や「暗号資産(仮想通貨)」など様々なものが現れる一方、政府も現金を使わない「キャッシュレス」を推進しています。そもそも「貨幣」とは何であり、これからどうなっていくのかについて考えていきましょう。
14:30~15:20	経済学部	現代ビジネス学科	奥山 茂	教授	会計の世界へようこそ	会計学の研究対象である会計の領域を概観した上で、会計という仕組みから生まれる情報を読み解くことによって、その情報が何を意味しているのか、そこから何が分かるのか、またその情報を使うことによってどのような意思決定につながるのかということを実際にみなさんも体験してみましょう。
12:00~12:50	経営学部	国際経営学科	河内 智子	准教授	国際ビジネスで成功する話し方とは?	国際ビジネスを成功させるためには異なる文化的背景を持つ人々との円滑なコミュニケーションが欠かせません。この授業ではコミュニケーション・スタイルの種類を紹介し、皆さんのコミュニケーション・スタイルについても自己分析をしてもらった上で、国際ビジネスを成功させる話し方について考えていきたいと思います。
14:30~15:20	経営学部	国際経営学科	河内 智子	准教授	国際ビジネスで成功する話し方とは?	国際ビジネスを成功させるためには異なる文化的背景を持つ人々との円滑なコミュニケーションが欠かせません。この授業ではコミュニケーション・スタイルの種類を紹介し、皆さんのコミュニケーション・スタイルについても自己分析をしてもらった上で、国際ビジネスを成功させる話し方について考えていきたいと思います。
12:00~12:50	外国語学部	中国語学科	松浦 智子	准教授	言葉と文字から見た中国	お隣の「中国」は、古い時代から日本とつながりの深い国です。では、「中国」ってどんな国でしょうか?これが、なかなか定義が難しい。土地も広いし、人も多い。歴史も長ければ、文化もさまざま。この授業では、まずは言葉と文字を手がかりとして、時空長大な中国のあれこれについて実践を通して楽しく学んでいきます。
14:30~15:20	外国語学部	スペイン語学科	菊田 和佳子	教授	スペイン語の誕生と発展	スペイン語はどんな国々で話されているのでしょうか?スペイン語はどのように生まれ、20もの国や地域に広がっていったのでしょうか?この授業ではスペイン社会の歴史と関連付けながら、スペイン語が生まれ、今日に至るまでの過程を勉強します。スペイン語の響きを聞くために、簡単な挨拶なども覚えることにしましょう
12:00~12:50	人間科学部	心理発達コース	杉山 崇	教授	ヒトの社会脳と社会的錯覚	ヒトは物理的的刺激より社会的刺激に敏感な、動物としては珍しい脳を持っています。なぜ、このような脳が必要だったのか、そしてこの脳は私たちに世界をどのように体験させるのか、簡単な実験も交えて学びましょう。
14:30~15:20	人間科学部	人間社会コース	笠間 千浪	教授	「通説」を疑うことから始める社会学	「戦前は大家族で、戦後に核家族化した」説や「良妻賢母は江戸時代からの古き女性の伝統」説はよく耳にするとします。しかし、よく調べてみると、そうした「通説」は誤りであることが判明します。社会学の仕事の一つとして「通説」の批判的検討ということがあります。